

令和8年度 学校経営計画

1 目指す学校像

(1) 校訓 「ひびき合い、つくり合う」

(2) 教育目標

「ひびき合い、つくり合う」中で、自立に向けて力強く生きる人を育てる。」

～ 児童生徒が他者とのかかわりの中で、お互いを大切にして学び合い(ひびき合い、つくり合う)、なりたい自分(自立)に向かって、自分のもてる力を発揮し、自分らしく生きていく人(力強く生きる人)を育てる ～

(3) 目標具現化の柱 ～つなぎ、つながる藤枝特支～

ア 命を守り、人権を尊重した安全・安心な学校づくり 【安全・安心】

イ 一人一人の確かな学びを積み上げる授業づくり 【授業】

ウ 家庭、地域、関係機関と共に、共生社会を目指す学校づくり 【連携】

エ 笑顔と対話を大切にし、認め合い支え合う働きやすい学校づくり 【チーム】

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア 安全 ・ 安心	命を守る危機管理体制の整備と対応力の向上	・ 緊急時や発災時における様々な想定での訓練の実施	・ 緊急時や発災時に自身の役割が分かり、指示がなくても行動している。	危機管理 生徒指導 保健給食 各学部 事務
		・ 保護者や地域と連携した緊急時対応の体制整備	・ 保護者が発災時の行動を理解している。(引き渡し・安否確認)	
		・ 防災年間指導計画に沿った12年間のつながりのある防災学習の実施 ・ 防犯学習の充実	・ 児童生徒が自分の身を守るための行動ができるような防災学習・防犯学習を行っている。	
		・ 安全性を視点とした学習環境の定期的な見直しと教育活動実施方法の検討	・ 安全性に考慮し、学習環境の整備や教育活動の充実に努めている。	保健給食 総務 体育 事務
		・ 保健指導の充実	・ 児童生徒の健康・安全意識が高まるような保健指導を行っている。	
教職員一人一人の人権意識の向上と人権意識の高い児童生徒の育成	・ 児童生徒の人権を尊重した教育活動の推進	・ 児童生徒にとって手本となるような呼び方(さん付け)や口調、対応が常に人権を尊重したものになっている。	生徒指導 情報教育 各学部	
	・ 人権年間指導計画に基づいた人権教育の実施 ・ 生徒主体の挨拶運動の実施	・ 児童生徒が自分も他人も大切にすることができる人権教育を行っている。		
	・ 情報セキュリティへの意識強化	・ 児童生徒の人権を意識した情報の扱いをしている。		
教育課程の組織的な検討と見直し	・ プロジェクトチームを中心とした藤特スタンダードの検討・見直し	・ 育みたい資質能力や教育課程について考え、話し合っている。	教務 研修 自立活動 各学部	

イ 授 業	「主体的・対話 的で深い学び」 を目指した授業 づくり・授業改 善	<ul style="list-style-type: none"> ・「ともに学び、力強く活動する人を育てる」を研修テーマとする授業実践 ・授業アドバイザーの活用 ・短縮週間を活用した教育活動の質の向上につながる熟議の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠ある実態把握に基づき目標を設定し、評価場면을教師間で共通理解して取り組んでいる。 ・単元振り返りカードを活用して、各教科等を合わせた指導の評価している。 	教務 研修 自立活動 各学部
	読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書の導入 ・学校図書館の活用推進 ・読み聞かせボランティアの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に読書活動に取り組む機会を設定している。 	図書表現 各学部
	教職員の専門性 の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師(PT, OT, ST, 医師)や自立活動教諭の活用 ・日常的なOJTの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家や他の職員のアドバイスを指導に役立てている。 	情報教育 研修 自立活動 各学部
		<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用方法や活用事例の紹介 ・ICTミニ学習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じて効果的にICTを活用して、教育活動を行っている。 	
児童生徒の思い を大切にしたキャ リア教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア教育の手引き(各学部のおさえと各学年のねらい)」の活用と見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の願いに沿って発達段階や生活年齢に応じたキャリア教育を行っている。 	キャリア 教育 各学部	
ウ 連 携	地域資源(人・ もの)の活用 と、地域貢献の 推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校間交流、「交流籍」を活用した交流及び共同学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・双方の成長を促す交流及び共同学習を実施している。 	地域連携 各学部
		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールを活用した地域と連携した活動の充実 ・地域ボランティアや外部人材の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とつながる教育活動を年間指導計画に位置付け、実施している。 	
	積極的かつ効果 的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・作業製品の販売、作品展示、HP、Instagram等による地域への積極的な発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の理解につながる発信を積極的にしている。 	図書表現 地域連携 情報教育 キャリア 教育
エ チ ーム	働きがいがあり、働きやすい 職場環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「いいね！タイム」の設定 ・相互の理解や安心感を深める対話や笑顔の心掛け 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年・分掌・グループ等、チーム内でお互いを認め合い支え合うことができている。 	各学部 各分掌 事務 管理職
		<ul style="list-style-type: none"> ・提案方法の工夫等による会議の効率化 ・組織における業務改善の検討 ・完全定時退勤日の実施 ・適正な職員配置による事務処理時間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業検討や児童生徒理解のための話し合いの時間を確保できている。 ・時間外等在校時間が月45時間年間360時間以内になるように、タイムマネジメントをしている。 	